

株式会社 JVCケンウッド

2023年10月17日

短期間かつ低コストでテレマティクスサービスの構築を実現するSDKを提供

当社製の通信型ドライブレコーダーが、 トヨタ自動車の「選択した車両のドライブレコーダーの映像を閲覧できるシステム」に採用

～大阪府堺市とトヨタ自動車が、ドライブレコーダー映像を消防活動に活用する共同実証実験を開始～

株式会社 JVC ケンウッドは、当社製の通信型ドライブレコーダーがこのたび、トヨタ自動車株式会社（以下、「トヨタ自動車」）が開発した「選択した車両のドライブレコーダーの映像を閲覧できるシステム」に採用されましたので、お知らせします。

当社は、トヨタ自動車の同システムの開発に対して、通信型ドライブレコーダーのハードウェアとともに、IoT・AI ベースのテレマティクスサービス構築を短期間・低コストで実現する、当社独自の Software Development Kit (SDK) を提案。同システムの開発の実現を、スピーディで柔軟かつ容易に支援できる点が評価され、このたびの採用に至りました。119 番通報だけでは把握しきれない現場の状況をより正確につかむために、消防指令センターのオペレーターが選択した付近を走行する車両からの映像の閲覧を可能にします。

10月25日より、共同実証実験を開始し、堺市消防局管内を走る協力企業の車両（バスやタクシー、トラックなど）約400台に当社製の通信型ドライブレコーダーが搭載され、堺市消防局の消防指令センターに設置されたシステムと連携します。

今後も当社は、通信型ドライブレコーダーを軸に、パートナー企業と協働したシステムやサービスの提供を進め、モビリティ分野に向けてドライバーに安心・安全を提供するテレマティクスソリューションを提案していきます。

<通信型ドライブレコーダーの概要>

このたび採用されたドライブレコーダーは、当社独自の映像・光学技術を生かし、高画質を実現するとともに、通信機能により、車両の位置情報や映像を管理者へ送信します。また、通信型ドライブレコーダーのハードウェアとともに、当社開発のソフトウェアを Software Development Kit (SDK) として使用できる「STZ-DR00 開発パッケージ」を提供しています。本パッケージにより、アプリケーション（通信アプリ）、サービス部分（サーバー）の開発のみでテレマティクスサービスの導入が可能。SDKにより既存のシステムとデータを容易に連携できます。さらに、汎用 OS の採用により、独自アプリケーションの組み込みが可能です。パートナー企業によって異なる IoT・AI ベースのテレマティクスサービスの開発を、短期間で柔軟かつ容易に実現します。



<通信型ドライブレコーダー>

- ・関連 Web ページ：[テレマティクスサービス向け通信型ドライブレコーダーSDK](#)
- ・関連ニュースリリース

堺市：[「堺市×TOYOTA ドライブレコーダー映像を消防活動に活用する共同実証実験を開始」](#)トヨタ自動車：[「堺市とトヨタ、ドライブレコーダー映像を消防活動に活用する共同実証実験を開始」](#)

<商標について>

・記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【営業窓口】 株式会社JVCケンウッド テレマティクスサービス事業部 企画営業1部

E-mail:info_dxps2@jvckenwood.com

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。